



てんごく いけ トンボ天国(池)

MAP -



TEL.058-388-3231

(笠松町役場 教育文化課(笠松中央公民館内))

木曾川の本流が取り残されてできた池(河跡湖)で、池の周辺がトンボの貴重な生息地であるため、トンボ天国(池)と呼ばれています。国の「ふるさといきもの里」や「岐阜県の名水」「ぎふ・ふるさとの水辺」にも選ばれ、町民の憩いの場や、子どもたちの研究・観察の場として親しまれています。



かさまつけいばじょう 笠松競馬場

MAP -



TEL.058-387-3278

(岐阜県地方競馬組合)

芦毛の怪物「オグリキャップ」を始めとした名馬たち、そして、中央競馬(JRA)で活躍する騎手が育った場所です。1周1,100mのコースは、全国でも一番スタンドに近いと言われるほど、疾走する馬の足音が伝わってきます。



かさまつ こうえん 笠松みなと公園

MAP -



TEL.058-388-1117

(笠松町役場 建設課)

公園から名鉄本線や木曾川を見ることができ、園内には、「遊具」、「じゃぶじゃぶ池」、「せせらぎ水路」、「芝生広場」があり、子ども連れの家族や散歩など町民の憩いの場として親しまれています。



きそがわかさまつとせんばあと いしだたみ 木曾川笠松渡船場跡(石畳)

MAP -



TEL.058-388-3231

(笠松町役場 教育文化課)

鉄道、自動車普及するまで、水運の中継拠点として発展し、木材、米などを積んだ大八車の車輪が道に食い込まないように、大きな石を敷いて地面を固くしたものが石畳です。現在の石畳は、明治11年の明治天皇御巡行の時に改修されたと伝えられ、笠松みなと公園内にその一部が残り、昭和42年岐阜県の文化財に指定されました。



みのぐんだいかさまつじんや けんちょうあと 美濃郡代笠松陣屋・県庁跡

MAP -

TEL.058-388-3231

(笠松町役場 教育文化課)

江戸時代に郡代陣屋が置かれ、治水や裁判、年貢の徴収などの仕事が行われていました。明治維新後、明治6年県庁が岐阜市に移るまで、郡代陣屋跡に笠松県庁、岐阜県庁が置かれ、ここでさまざまな仕事が行われ、岐阜県の政治の中心地となっていました。



そがんちくていきねんひこうえん 蘇岸築堤記念碑公園

MAP -



TEL.058-388-1117

(笠松町役場 建設課)

円城寺から若葉町までの一部の地域では、幾度となく水害に見舞われ、昭和50年度に国の事業による現在の堤防に改修された事跡を讃え、蘇岸築堤記念碑が建立され、平成29年に公園を新設しました。現在はサイクリングロードの中継拠点にもなっています。



かさまつちょうれきしみらいかん 笠松町歴史未来館

MAP -



TEL.058-388-0161

出土遺跡や川湊を中心とした商工業の歴史、笠松陣屋、笠松県庁跡などの「歴史ある笠松」の貴重な資料や、伝統芸能などが展示されています。また、企業や学校などの協力を得て、航空宇宙や医療関連の情報を展示した未来志向の展示も行っています。